

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

表層で27.4℃となっている地点があります。また、溶存酸素量が5.0mg/Lを下回っている地点があります。

検鏡の結果、魚類に対して有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大2細胞/mL、ケラチウム属が最大1細胞/mL確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、魚類に対して有害なシャットネラ属が藻津で0.14細胞/mL、大島中央で0.01細胞/mL、小筑紫中央で0.05/mL、主に麻痺性貝毒の原因種とされるアレキサンドリウム属が藻津で0.01細胞/mL確認されました。

アレキサンドリウム属は、主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、養殖魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ケラチウム 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス
	(m)	(℃)		(mg/L)		
A 藻津 (-/36.3m) 【09:15】	0	27.0	33.7	6.0	0	0
	★ 5	27.0	33.8	5.8	0	0
	10	27.0	33.8	5.6	0	0
	15	27.1	33.9	5.4	-	-
	20	27.1	33.9	5.6	-	-
B 大島中央 (-/31.3m) 【09:44】	0	26.8	33.2	5.9	0	0
	★ 5	27.0	33.8	5.9	0	0
	10	27.2	33.9	5.7	0	0
	15	27.2	34.0	6.2	-	-
	20	27.1	33.9	6.3	-	-
C 小筑紫中央 (-/48.5m) 【10:04】	★ 0	27.3	33.6	5.6	0	2
	5	27.1	33.9	5.1	0	0
	10	27.1	34.0	5.5	0	0
	15	27.1	34.0	5.7	-	-
	20	27.0	34.0	6.2	-	-
D 栄喜奥 (-/11.3m) 【10:20】	★ 0	27.0	31.9	6.1	1	0
	5	27.3	34.0	5.2	0	0
	9	27.2	34.0	5.1	0	0
	10	27.2	34.0	5.0	0	0
E ヒロウラ (-/25.3m) 【10:41】	0	27.4	33.3	4.9	0	0
	★ 5	27.3	34.0	5.1	0	0
	10	27.2	34.0	5.1	0	0
	15	27.1	34.0	5.6	-	-
	20	27.0	34.0	5.8	-	-
F 青瀬山 (-/16.5m) 【10:29】	★ 0	27.4	32.7	6.1	0	0
	5	27.3	34.0	5.8	0	0
	10	27.2	34.0	5.8	0	0
	15	27.0	34.0	5.0	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。

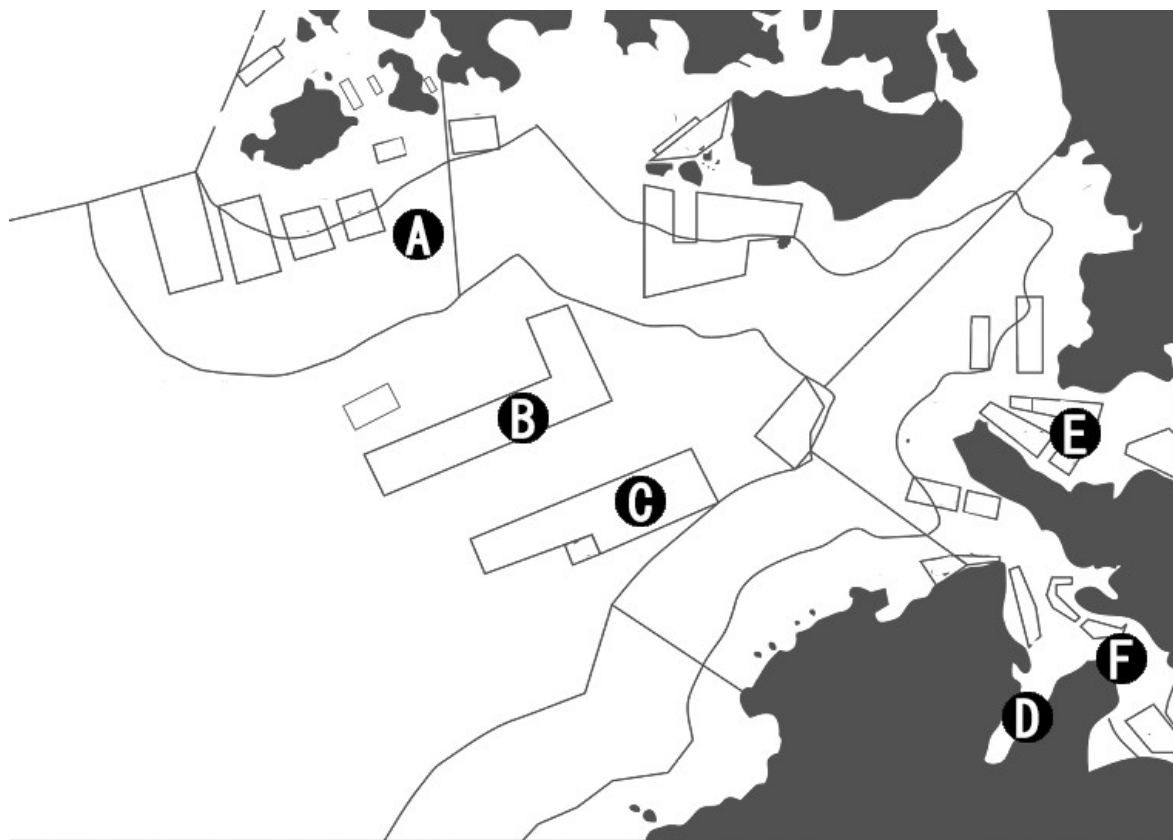
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
ケラチウム属	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 藻津

B: 大島中央

C: 小筑紫中央

D: 栄喜奥

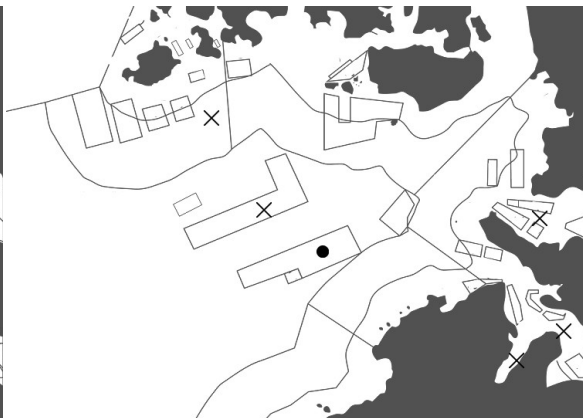
E: ヒロウラ

F: 青瀬山

ケラチウム属
最大細胞密度



コクロディニウム・ポリクリコイデス
最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ
円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0
×

1~9
●

10
○

100
○

1,000
○

10,000
○

100,000
○

300,000
○

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

